

# 付属語

NO. 1

## ● 付属語を見つける

手順① 文を文節に分けよう！

私は 海が 好きだ。

手順② 文節を単語に分けよう！

私は 海が 好きだ。

手順③ 自立語・付属語に分けよう！

私は 海が 好きだ。

### ヒント

手順①：「うね」で分けてみよう。

手順②：単語は言葉の（ ）。

手順③：自立語の方が見つけやすい。

・自立語の特徴は（

）に必ず（

）あり、必ず

（

）にくる。それ以外が（

）ということ。

では、文節、単語に分けて、付属語を見つかけよう！

① 私 は 海 が 好きなので 沖縄 に行った。

② 君 は 本当に 優しい 人 だね。

③ 体育館 まで 歩く の さえ 嫌だ。

④ ずっと やつ ても 終わら ない。

## ● 助詞を見つける

手順① 付属語の中から活用のない語を探そう

① 今日 の 給食 は 何 だろ う か。

② 花 が 校庭 に たくさん 咲いた。

③ 「やめてよ。」と 言わ れた。

④ よし、 今日 も 大丈夫 だな。

⑤ 君 の 犬 が 犬小屋 で 寝て いる。

⑥ よい とか 悪い とかは どちら でも よい。

⑦ 牛乳 だけ 買い ました。

### ヒント

「活用①の：  
ない語の  
変化語  
ない語」

● 格助詞…主として（ ）に付き、それと下の語句との助詞。

問一 次の各文の――線の格助詞「で」の働きを後から記号で答えなさい

- ①大雪で電車が止まった。 ( )
- ②筆であて名を書く。 ( )
- ③駅の改札を出たところで待ち合わせる。 ( )
- ④きれいな折り紙で鶴を作る。 ( )
- ⑤五分間で戻ってきなさい。 ( )

ア 場所 イ 手段 ウ 材料 エ 限定 オ 原因・理由

格助詞「の」の3つの役割

- 一、（ ）…主語に説明を加える。  
(例) 君の笑顔は美しい。
- 二、（ ）…「が」に置き換えられる。  
(例) 虹の見える場所。
- 三、（ ）…「～こと」「～もの」に置き換えられる。  
(例) 話すのがつらい。

格助詞の問題…「の」の区別をしよう！

問二 次の各文の――線の格助詞「の」の働きを後から記号で答えなさい

- ①君の嫌いなことを教えてください。 ( )
- ②とても強いのかと思っていた。 ( )
- ③朝の牛乳はおいしいね。 ( )
- ④中国の留学生を迎える。 ( )
- ⑤おぼけの出る山はあるのでしょうか。 ( )
- ⑥自分の犬に吠えられる。 ( )
- ⑦もっと新しいのがいい。 ( )
- ⑧風の吹く方へ行く。 ( )

ア 連体修飾語を示す。イ 主語を示す  
ウ 体言と同じ資格を与える (準体言詞)

## ● 副助詞…( )

を付け加える助詞。

例 今日だけ寒い。

例 終わりも見られなかった。

( ) に付いて、( )

問一 次の文から助詞を○で囲み、副助詞を見つけ、横に副と書きなさい。

① 一時間も あるけど これだけしかできない。

② 体育館まで 歩くのさえ嫌だ。

③ よいとか 悪いとかは どちらでもよい。

④ 一人ずつ 入って きてね。

⑤ やれば やるほど うまく なる。

問二 各文の           の中にあてはまる副助詞を書き入れなさい。

① 一人の力                      で成功するはずがない。

② コーヒー                      入れましょうか。

③ 部屋には いっぱいいると思ったけれど、犬一匹                      いない。

④ 優しい                      、和やかだ                      言われる。

⑤ ニキロ                                 歩いた。

⑥ 今日は負けたが、今度                      勝つぞ。

⑦ えっ、彼だけじゃなく、君            行くのかい。

問三 次の副助詞は、どんな意味を付け加えているか、あとから選びなさい。

① 子供にまで笑われる。 ( )

② 雪に雨さえまじった。 ( )

③ だれか持って来ましたか。 ( )

④ 今日からは三年生です。 ( )

⑤ 一人ずつ入ってきてね。 ( )

⑥ 水さえあれば生きていける。 ( )

ア強調	イ軽くみなす	ウ動作の直後	エ他を類推	( )
カ割り当て	キ限定	ク累加		オ不確か

● 接続助詞：主として（

（ ） 助詞。（ ） に付き、前後を  
（ ） ・ （ ） の関係がある。

① 順接（上の文から当然の結果がくる）の関係でつなぐ

「から・ので・ば・と・て（で）・なり」

新しいから丈夫だ。（順接・確定） 高いので買えない（順接・確定）  
やすければ買う。（順接・仮定） 雨になると困る。（順接・仮定）  
帰って休む。（動作の推移） 重くて持てない。（原因・理由）  
家に帰るなり、テレビを見る。（直後に動作が続く）  
風が吹けば、波が立つ。 ある条件が備わると、いつでもあること  
風が吹くと、波が立つ。 が起こる場合の条件を示す。

② 逆接（上の文から意外な結果がくる）の関係でつなぐ

「が・けれど（けれども）・のに・ても（でも）・と・て（で）・ながら・つつ」  
冷たいが、平気だ。（逆接・確定） 晴れたが、また曇った。（対比）  
勉強したけれど、成績はよくない。（逆接・確定）  
暑いのに汗をかかない（逆接・確定）  
読んでもわかるまい。（逆接・仮定）  
混乱しようと関係ない（逆接・仮定） 見て見ぬふりをする。（逆接）  
知っていないながら教えない。（逆接） 知りつつ知らん顔（逆接）

③ 並立（上と下が対等）の関係でつなぐ

「が・けれど（けれども）・ば・ながら・し・たり（だり）・て（で）・つつ」  
才能もあるが（けれども） 努力もある。（並立）  
血もあれば涙もある。（並立） 食べながら歩く。（並立）  
歌いつつ舞う。（並立） 優しくて親切だ。（並立）  
行ったり来たりする。（並立） 忘れてたりして悪い。（他を類推される）  
風邪も吹くし、雨も降る。（並立）  
よく休むし、困る。（他を類推される）

④ 補助の関係でつなぐ

「て（で）」  
聞いてみる。 わかっている。 積んである。

# 付属語

NO. 5

## 接続助詞の問題

問一 適切な接続助詞を入れなさい。

- ① もう暑い（ ） 扇風機を出した。  
② 疲れた（ ） まだ続けたい。  
③ 話し（ ） 歩いた（ ） 前の人にぶつかった。  
④ 起きる（ ） 新聞を取りに行く。  
⑤ 後ろを向い（ ） 立ち上がった（ ） して、君は落ち着きがない。  
⑥ 彼なら（ ） きっと勝つ（ ） 満足しない。

問二 次の接続助詞の種類を答えなさい。

- ① 負けそうだけれど、絶対にあきらめない。 （ ）  
② 寝坊をしたので、電車に乗り遅れる。 （ ）  
③ 明日雨が降れば、遠足は中止だ。 （ ）  
④ 血もあれば涙もある。 （ ）  
⑤ 彼はなんでも知つている。 （ ）  
⑥ この製品は新しいから丈夫だ。 （ ）

接続助詞の問題：「と」「の」の区別をしよう！  
問三 次の各文の 線の「と」が、格助詞であれば「ア」、接続助詞であれば「イ」と答えなさい。

- ① 一人前の職人と話す。 （ ）  
② 変身してライダーとなる。 （ ）  
③ 「やめてください。」と言われた。 （ ）  
④ 夏になると海に行こう。 （ ）  
⑤ さばると怒られた。 （ ）

# 付属語

NO. 6

## ●終助詞：

話し手・書き手の（ ）や（ ）に付いて、  
（ ）・（ ）や態度を表す。  
の意味がある。（ ）など

問一 次の終助詞は、どのような気持ちを表すかを答えなさい。

①この 店 は なつかしい なあ。（ ）

②次 は どう する の。（ ）

③絶対に 部屋 から 出る な。（ ）

④よし、 今日 も 大丈夫だ な。（ ）

⑤ゴール まで もう すぐ よ。（ ）

問二 次の終助詞と同じ意味のものを選りなさい。

ねえ、そろそろ休もうか。

（ ）

ア このままでいいのか。

イ いよいよあなたも行きますか。  
ウ 私ともダンスを踊りませんか。

問三 次の各文の —— 線の終助詞「か」の意味をあとから選り、記号で答えなさい。

①作品の仕上がりはどうですか。（ ）

②どうしたら許してもらえなのだろうか。（ ）

③そろそろ終わりにしようか。（ ）

④さて、行こうか。（ ）

⑤君は本当にこんなものか。（ ）

ア 疑問    イ 質問    ウ 勧誘    エ 反語

● 助動詞：付属語で活用がある品詞

れる・られる」

(受け身・自発・可能・尊敬)

①「受け身」とは、「くがくに(から)くれる(られる)」となる。  
「くに」の部分は省略されることもある。

\*わたしが先生にはめられる。

②「自発」とは、自然とそういう気持ちや事態になる、という意味。  
「思う」「感じる」などの語につく場合が多い。

\*町を寂しく感じられる。(自然とそうなる)

③「可能」とは「できる」という意味。「られない」は不可能を表す。  
「くすることができる」といい換えができる。

\*全然見つけられない。(見つけるのができない)

④「尊敬」とは目上の相手への敬意を示す。(おくになる)

\*先生がみんなへ話される。

問題 1 次の文の「れる」「られる」の意味を答えよ。

- |    |                                 |   |   |
|----|---------------------------------|---|---|
| 1  | 使い慣れない言葉では、ものは考え <u>られない</u> 。  | ( | ) |
| 2  | いま入って来 <u>られた</u> かたが会長さんです。    | ( | ) |
| 3  | 校長先生が賞状の言葉を読み上げ <u>られました</u> 。  | ( | ) |
| 4  | 故郷の友が懐かしく思い出 <u>される</u> 。       | ( | ) |
| 5  | この問題は、人々に関心を寄せ <u>られている</u> 。   | ( | ) |
| 6  | あなたにお話ししないでは <u>いられません</u> でした。 | ( | ) |
| 7  | 母に悲しま <u>れる</u> ようなことはしたくない。    | ( | ) |
| 8  | やはり先生の言わ <u>れた</u> ことが正しかった。    | ( | ) |
| 9  | 山の中腹あたりでしばらく雨に降 <u>られた</u> 。    | ( | ) |
| 10 | 友達としての好意がしみじみと感 <u>じられた</u> 。   | ( | ) |
| 11 | ただ黙っていては、誤解さ <u>れて</u> もしかたがない。 | ( | ) |
| 12 | 私にはむずかしくてはつきり答 <u>えられ</u> ません。  | ( | ) |

ア 受け身    イ 自発    ウ 可能    エ 尊敬

## ●助動詞：付属語で活用がある品詞

ようだ（比況・推定・例示）

- ①「比況」は何かのたとえであることを示す。「まるで」の形など
- ②「推定」は確かな根拠に基づいて推量すること
- ③「例示」はわかりやすく例として示すこと

問題 1 次の「ようだ」の働きを答えなさい。

- ①今夜は、どうやら雪になるようだ。  
( )
- ②港町とは、神戸のような街を言う。  
( )
- ③あまりに突然で、まるで夢のようだった。  
( )
- ④さらにがんばるようなら、応援しよう。  
( )

ア 比況    イ 推定    ウ 例示

そうだ（様態・伝聞）

- ①「様態」は「どういう様子だ」の意味  
\*まもなく始まりそうだ。
- ②「伝聞」「〜という話だ。」の意味  
\*まもなく始まるそうだ。

問題 2 次の「そうだ」の意味を答えなさい。

- ①大きく揺れて今にも倒れそうだ。  
( )
- ②あの家には誰も住んでいないそうだ。  
( )
- ③天才は九十九パーセントの努力だそうだ。  
( )
- ④この分なら信頼して良さそうだ。  
( )

ア 様態    イ 伝聞